

湧永製薬

追い上げ届かず PO 1点の重み

7点差をつけられ前半を折り返したのが痛かった。

立ち上がりは互角の戦い。中盤では一時リードした場面もあった。しかし、完全に流れに乗り切れない。中盤以降はノーマークシュートを相次いでミス。逆にトヨタ車体を乗せてしまった。結局、前半を終えて7点という大差をつけられた。

それでも後半は古豪の意地をのぞかせた。一時は10点とリードを広げられたが、新エース成田、故障上がりのベテラン新のゴール、樋口の7発スローで追い上げた。だが、残り15秒で失点。新の終了直前の得点も届かなかった。

今シーズンは谷村らがドイツ留学で抜けたうえ、相次ぐ故障者に泣かされた。終盤には好調を維持していた左サイドの坂本までもがケガ。ベストメンバーでの戦いは出来なかった。

フィールド得点賞に輝き、日本代表にも選出された成田の成長はあったが、チームとしての安定感に欠けた“綱渡り的”シーズンと言えよう。これで5年連続のプレーオフ初戦敗退。新シーズンにはより強い結束力で巻き返しを図るしかあるまい。

日本リーグ・プレーオフに臨んだ湧永製薬、広島メイプルレッズはともに初戦敗退、決勝に進めなかった。優勝は大同特殊鋼、オムロンとともに3連覇。



《日本リーグ・プレーオフ成績》

▽男子準決勝
湧永製薬 29 (10-17、19-13) 30トヨタ車体
▽女子準決勝
メイプル 23 (11-14、11-8
延長 1-2、0-1) 25北國銀行

逆転残り10秒暗転

メイプルレッズ

メイプルレッズは悔しい敗退となった。プレーオフ進出で「初戦敗退」はクラブ創設時の1995年くらい2度目だ。それ以外の準決勝はいずれもクリア、決勝のコートに立つてきた。周囲からは「さすがメイプル」の声も聞こえてきたくらいだった。

前半中盤からは追いかける展開にはなったが、1点差とした終盤、3連続失点したのが痛かった。

夢と感動をありがとう

2013シーズンの日本リーグを4位で終えた湧永製薬、このシーズン限りで3人がコートを離れることになった。

GKでコーチ兼任の松村昌幸、右サイドプレーヤー新建二、ポストプレーヤーの木村雅俊の3人。プレーオフが最後の舞台となった。

13年間在籍した松村はコーチを兼任しながら“GK王国”を守ってきた。日本代表としても冷静なプレーでゴールを死守した。

新は2013年シーズンはけがに泣いたが、プレーオフ準決勝では成田に次ぐ7得点を挙げるなど、スピードに乗ったプレーでチームをリードした。7年間で93試合に登録、389得点をマークした。

5年間在籍の木村は膝のケガに悩まされ続け、退部を決意した。トヨタ紡織戦でプレーオフ進出を決めると、感極まって号泣したのが印象に残る。通算成績は71試合、126得点。

3人ともご苦労さんでした。今後の第2の人生での活躍を祈っています。

湧永製薬



松村 昌幸



新建二



木村 雅俊

3人がコートにお別れ



檜崎氏、最優秀レフェリー賞 5年連続受賞

日本リーグ最優秀レフェリー賞に檜崎潔(広経大職員・写真・池淵智一ペア)が選出された。2009年シーズンから5シーズン連続の受賞となった。

しかし、後半は得点王の宋海林、高山らの連続得点で反撃。過去7連覇した時の“強いメイプルレッズ”を再現したかのような戦いを見せた。

残り4分を切った段階でついに逆転した。だが、残り10秒同点とされ延長にもつれ込んだ。

勝機はあったが、レギュラーシーズンでも時折顔をのぞかせた「ミス」が命取りとなった。

とはいえ若返ったチームでの檜舞台の経験は貴重だ。増田、高橋ら若手のプレーには頼もしさを感じる。若さと勢いに悔しさをプラスして新たな一歩を踏み出せるはずだ。



メイプルが新ユニホーム

プレーオフの前にメイプルレッズがユニホームを新調した。コートプレーヤーはチームカラーの赤とグリーン。赤色はカープのビジター用ユニホームと同じ色を取り入れた。GK用の黄色とグレーの2色も新調した。

プレーオフでは1試合しか着用できなかったが、新たなシーズンでは最後まで袖を通して戦ってくれるはずだ。

一般男子Aは広経大 女子は広島大 高校は向原

■県室内総合選手権 成績■

【中学生男子】
▽1回戦
呉シニア33(20-7,13-7)14昭和北中
▽準決勝
メイプルJr56(28-2,28-2)4片山中
呉シニア38(19-3,19-4)7修道中
▽4、5位決定戦
昭和北中27(15-6,12-11)17片山中
▽決勝
呉シニア32(16-10,16-18)28メイプルJr

【中学生女子】
▽リーグ戦
メイプルJr45(23-1,22-1)2昭和北中
メイプルJr19(9-6,10-7)13亀山中
亀山中33(14-1,19-1)2昭和北中
*順位 ①メイプルJr2勝②亀山中1勝1敗③昭和北中2敗

【小学生男子高学年】
▽リーグ戦
メイプルJr20(6-6,14-4)10HC向原
メイプルJr7(3-1,4-5)6呉JrHC
呉JrHC12(6-3,6-7)10HC向原
*順位 ①メイプルJr2勝②呉JrHC1勝1敗③HC向原2敗

【小学生女子】
▽決勝=出場2チーム
メイプルJr20(8-4,12-5)9HC向原

【小学生低学年混成】
▽リーグ戦
呉JrHC13()1HC向原
メイプルJr8(4-2,4-2)4HC向原
呉JrHC10(2-1,8-3)4メイプルJr
*順位 ①呉JrHC2勝②メイプルJr1勝1敗③HC向原2敗

■県室内総合選手権 成績■

【一般男子A】
▽1回戦
広島大18(8-11,10-5)16安芸高田HC
広経大29(15-11,14-6)17マツダ
▽3位決定戦
安芸高田HC25(12-10,13-10)20マツダ
▽決勝
広経大26(14-4,12-13)17広島大

【一般男子B】
▽1回戦
広島HC33(15-7,18-13)20呉クラブ
呉HC・R28(13-12,15-11)23海自江田島
▽3位決定戦
海自江田島12()0呉クラブ
▽決勝
広島HC27(12-10,15-16)26呉HC・R

【一般男子C】
▽リーグ戦
広島大18(9-9,9-7)16修道大
HKC26(12-5,14-11)16修道大
HKC26(12-7,14-6)13広島大
*順位 ①HKC2勝②広島大1勝1敗③修道大2敗

【一般女子】
▽1回戦
桜ヶ丘高26(11-12,15-10)22安田女大
▽準決勝
広島大17(12-9,5-7)16瀬戸内ゲイム
広島HC31(13-5,18-6)11桜ヶ丘高
▽決勝
広島大22(12-8,10-11)19広島HC

【高校男子】
▽予選リーグA組
向原34(18-4,16-3)7西条農陽
向原33(13-8,20-9)17山陽
山陽24(12-7,12-8)15西条農
*順位 ①向原2勝②山陽1勝1敗③西条農2敗

▽予選リーグB組
呉工26(13-11,13-10)21賀茂A
修道24(12-11,12-6)17呉工
賀茂A23(11-9,12-13)22修道
*順位 ①修道1勝1敗②呉工1勝1敗③賀茂A1勝1敗(1-3位は得失点差による)

▽予選リーグC組
広島28(16-1,12-5)6賀茂B
広島31(20-3,11-6)9如水館
賀茂B22(8-7,14-11)18如水館
*順位 ①広2勝②賀茂B1勝1敗③如水館2敗

▽決勝リーグ
向原26(14-10,12-10)20修道
向原26(12-10,14-10)20広島
21(12-9,9-9)18修道
*順位 ①向原2勝②広1勝1敗③修道2敗

第43回県室内総合選手権は2月15、16の両日、広島グリーンアリーナで開かれた。

一般男子A組は学生同士の決勝となり、広経大が広島大を下した。

一般女子では広島大が広島HCに競り勝った。高校勢でただ1校出場した桜ヶ丘は初戦で安田女大を破ったが、準決勝で力尽きた。

高校男子は賀茂A、Bを加え12チームが3部に分かれて予選リーグの後、各組1位で決勝リーグを戦い、向原が2戦2勝で優勝を飾った。中学生では男子が呉シニア、女子はメイプルジュニアが1位となり、小学生部門は男子高学年部門と女子部門でメイプルジュニアが制し、低学年混成部門は呉ジュニアHCがメイプルジュニア、HC向原に快勝した。

★県リーグ第5日

(2.23 広経大石田記念体育館)
▽1部 安芸高田HC23(12-12,11-9)21広経大、安芸高田HC31(19-8,12-16)24広島HC、広経大24(11-7,13-12)19広島大、広島HB34(19-11,15-16)27海自江田島

【男子】=メイプルジュニアスポーツクラブ

▽1回戦 35(16-8,19-16)24成田中(宮城)
▽2回戦 20(10-5,10-9)14滝尾中(大分)
▽3回戦 30(15-11,15-11)22福岡中(群馬)
▽準々決勝 26(15-11,11-18)29戸塚中(埼玉)

【女子】=甲田中

▽2回戦 14(6-14,8-14)28東久留米西中(東京)

女子甲田中は初戦敗退

春の全中

第9回春の全国中学生選手権は3月26日から4日間、富山県氷見市ふれあいスポーツセンターを主会場に行われた。

2年ぶり2度目出場の男子・広島メイプルジュニアスポーツクラブは準々決勝に進出。前半は4点リードしたが、後半追い上げられ逆転負け。あと一步でベスト4進出を逃した。

女子は2年連続2度目出場の甲田中に期待がかかったが、初戦(2回戦)で準優勝の東久留米西中に屈し、3回戦に進めなかった。なお山口県岩国市の平田中が男子は地元氷見の西條中に圧勝、女子は東久留米西中を延長の末に下し男女優勝を飾った。ともに初めての優勝。

メイプル
4強あと一步

強化策に本腰を

理事会・総会 予算・決算承認

2013年度県協会理事会・総会が3月15日、広島グリーンアリーナ会議室で開かれ、2013年度決算(中間)と2014年度予算案を承認した。

新予算は総額7,523,000円で、前年度より762,500円増えた。新たな取り組みとして審判、指導員養成のために資格取得の補助金を計上した。

また、以前からの懸案であるジュニア強化策について議論が交わされた。県外流失や国体への取り組みなどに本腰を入れるため強化委員会を開き、各カテゴリーが協力して底上げを図る施策を話し合うことになった。

役員人事では安芸高田市会長に就任の齋藤秀美常任理事が県協会副会長、後任に富永秀雄安芸高田市理事長の就任が報告された。

山陽、初出場の壁?

選抜大会 初戦突破ならず

全国高校選抜大会に創部2年目で初出場した女子の山陽は2回戦(初戦)で昭和学院(千葉)と対戦し、大差で敗れ「全国」1勝はならなかった。広島勢としては7年ぶりの出場だったが、全国の厚い壁に阻まれた。

▽女子2回戦

山陽10(3-21,7-16)37昭和学院

《山陽メンバー》

No	選手名	学年	身長	得点
1	上田 らん②		163	2
2	國博 沙弥香②		154	2
3	中西 由乃②		162	0
4	久保 晴香②		162	1
5	前場 桃子②		153	0
6	山下 綾香①		150	1
7	塩谷 緋子①		159	4
8	板倉 舞①		154	0
12	齋藤 瞳①		165	-

(注)白抜き数字は主将

初出場と20年連続出場の対決は、伝統の差、かも知れない。前半からパスミスも速攻につながらず、失点を重ね、後半立ち上がり2連続得点で反撃を見せたが、及ばなかった。青戸監督は「敗れたが、いい経験になった。総体に向けた頑張り」と前向きにとらえた。